



隊友千葉だより

平成28年7月号 (No. 44) 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000～1500 山田理事役

内田幸子理事役退任

県事務局勤務の内田幸子理事役は、5月末をもって退任された。高射学校を事務局で退官後、概ね20年近く、県本部事務局で県隊友会の会計業務、会員証作成・送付などの入会事務及び庶務をホロンタイプで行い、実質的に県隊友会を支えて頂いた。5月24日(火)、千葉市内で藤尾顧問、山田顧問及び会長以下県役員でささやかながら慰労会を開いた。大根理事役は、「現役時代、高射学校で若き日の内田事務局員にいろいろ指導を受けた。」など、各自、思い出を語り合い楽しい時間を過ごした。内田理事役は、県隊友会の発展に著しい貢献があったかどで、県理事役全員一致で県隊友会の参与を委嘱した。【事務局】



新着任部隊長を表敬

4月26日(火)、河野県会長、青木更津支部長、本間監事役及び柏谷理事役は、春の定期異動で着任された海自航空補給処長 荒川純一1等海佐及び空自第4補給処木更津支処長兼木更津分屯基地司令 伊藤敏信1等空佐を、また6月20日(月)、河野会長、森船橋支部長及び事務局局長は、空自第1高射隊長兼習志野分屯基地司令 原田理2等空佐を表敬訪問し、県隊友会相談役就任をお願いした。



荒川 海自航空補給処長

需品教導隊 熊本地震災害派遣記録

松戸駐屯地所在の陸自需品学校及び陸自第2高射特科群は熊本地震災害派遣に出動した。同駐屯地広報班から派遣記録を提供して頂いたため、その一部を紹介する。【事務局】

需品教導隊長荒木2陸佐以下20名は、本震発災の3日後、4月19日(火)夜、上級部隊の命に基づき松戸駐屯地を出発、長距離機動の後、21日(木)熊本市の健軍駐屯地に到着、翌22日(金)上益城郡山都町(やまとちょう)の矢部保健福祉センターに前進、野外入浴施設の開設、近傍の水源から水タンク車による入浴用水の運搬など諸準備を行い、同日20時から被災者方々への入浴支援を開始した。途中、一回の部隊交代を経て支援を継続し、5月11日(水)松戸駐屯地に帰隊した。



入浴支援隊、和田松戸駐屯地司令の見送りを受けて出発 (4月19日夜)



第2高射特科群も人命救助のため、4月16日夜出発



子供の日は、菖蒲湯で支援 (5月5日)



山都町に前進、支援準備、支援開始 (4月22日)



健軍駐屯地(熊本市)に到着 (4月21日)



支援中、山都町町長から激励を頂いた



入浴支援12日目 (5月3日)

熊本地震義援金の募金結果
4月・5月に正会員の皆様にご金をお願いしました。986名の方から総額277万6千円の寄付を頂きました。多くの方々に協力頂き、衷心より御礼申し上げます。在葉部隊災害派遣激励品代及び募金所要経費(払込手数料、通信運搬費、消耗品費等)を差し引き、203万9千616円を隊友会本部に送金しました。【事務局】



派遣を終え需品学校長に帰隊報告 (5月11日)

事務局からの連絡事項

◆隊友会定時総会における議決権行使結果
隊友会総会において正会員は議決権を行使しなければなりません。総会の決議には総正会員の過半数の出席(委任)が、また定款の変更等重要議案の決議には3分の2の出席(委任)が必要です。本年度定時総会における県の議決権行使状況は75%でした。隊友会全体でも67%で3分の2を超え、隊友会の定款の一部変更も決議されました。(隊友会の事業は、日本全国で行う)を「隊友会の事業は、本邦及び海外において行う」に変更) これにより海外において実施される戦没者遺骨帰還事業に隊友会会員も参加できるようになりました。

◆平成29年度以降、終身会員を廃止
現在、会費納入区分に応じ年会員と終身会員がありますが、今回の定時総会で会員規則の一部が改正され、29年度(平成29年4月1日)以降入会の会員から終身会員が廃止され、会員は、年度毎に会費を納めることとなります。(現在既に、終身会員である会員は、そのまま終身会員の身分は保証されます。現在、年会員の方でも今年度中に終身会費3万円を納入すれば終身会員に変更可能です。)
平成29年度以降、希望する者は、希望する時期に10年、15年、20年のいずれかの期間を選択し、その期間の会費を一括前納することができます。その場合、前納期間にかかわらず前納期間会費総額の10%が免除されます。

原田 空自第1高射隊長

伊藤 空自第4補給処木更津支処長

2016/04/25

県隊友会防衛講演会終了

5月9日(月)、18時30分から千葉市民会館において宇都隆史参議院議員を講師に迎え、防衛講演会を開催した。本講演会は、千葉県自衛隊協力会連合会、同女性部会、千葉県自衛隊父兄会、千葉県自衛隊援護協力会、下総水交會と共催し、千葉県備行会、千葉県郷友会、千葉県海上自衛隊OB会、下総基地後援会「翼の会」及び傘の会の協賛を得て、自衛隊各部隊、自衛隊協力会、県隊友会特別会員などに幅広く参加を呼びかけたところ、櫻田孝孝参議院議員、猪口邦子参議院議員、門山宏哲参議院議員、代理門山美千代様を始め佐渡西四街道市長、齊藤守・中村実各県議、臼井正一県議代理、多田育民・岡泉・爲田浩・阿比留義顯各市議、自衛隊部隊指揮官・隊員、協力団体会員など約400名が聴講した。講師の宇都議員は演題「21世紀の日本の道標 外交・安全保障の側面から」と題し、高齢化が進み社会保障関連予算が毎年1兆円増加していく中、増額が困難な我が国の防衛予算で、見かけて年16兆円を超える軍事予算を使い、南シナ海で領土を拡張している中国や核開発を進める北朝鮮にいかに対応していくか。それには、米国、豪州、東南アジア諸国を始めする諸外国と良好な関係を維持し、協力して当たるしかない。先に成立した安全保障法は、これに沿うものだ。まさに戦争予防法だと強調。また憲法改正でも憲法改

正憲法9条改正反対、戦争反対となるのはなく、国の統治機構の改革など、他にもやるべきことが多々あると述べた。

講演会終了後、防衛関係団体会長等と交え、県隊友会役員・支部長・会員と近傍居酒屋で懇親を深めた。



県隊友会支援の「昔遊び」最優秀事業賞を受賞

昨年8月、県隊友会が支援し、県護国神社で行われた終戦70周年事業「神社子ども探検隊」神主さんと体験する昔遊び」が全国の神道青年会でも優れた事業に贈られる最優秀事業賞を受賞した。この祝賀会が5月25日(水)夕、千葉市内で行われた。

千葉県神道青年会から岡野大和会長、昔遊びの大野裕俊隊長(副会長)、平田長保事務局長ほか千葉県隊友会から河野会長と昔遊びに参加した5名(小倉、高坂、天草、大根、河西)と千葉県教職員であるT.O.S.S会員の企画担当の上地貴之さん(千葉大学院生)ら5名、総計22名が参加し、受賞を祝った。

未来ある子供たちのために機会があればこのような事業にまた参画したい。T.O.S.S(トスTeacher's Organization of Skill Sharings(教育技術則化運動)の略



県隊友会ゴルフコンペ終了



第10回県隊友会ゴルフコンペ

5月12日(木)、新緑のムーンレイクゴルフクラブ茂原コース(茂原市長尾)で開催、42名の会員、知人の参加を得て、天候にも恵まれ、大いに懇親を深め、無事終了した。結果は次のとおり。河野県会長は、個人戦で優勝した。

団体戦優勝「四街道支部 同準優勝」白井支部 個人戦優勝「河野美登(流山支部) 同準優勝」水上武彦(四街道支部)

来年度(29年)は四街道支部が幹事で、5月15日(月)、同場所(ムーンレイクゴルフクラブ茂原コース)で開催予定。多くの方の参加をお待ちします。

平成28年5・6月入会者

祝入会【敬称略・順不同】

入会感謝・隊友会の発展にご協力を

- 【千葉緑】 清水 武俊(事)
- 【我孫子】 友部 薫(陸)
- 【安房】 本橋 彰仁郎(空) 森下 孝志(空)
- 【木更津】 竹下 博文(空)
- 【市川】 山崎 高詞(陸)
- 【松戸】 河井 繁樹(陸) 宮本 幸二(海)
- 【千葉若葉】 佐藤 大輔(陸) 齋藤 安廣(陸) 安藤 徳光(陸)
- 【四街道】 筒井 紀詔(陸)
- 【沼南】 金子 敬志(海)
- 【柏】 橋口 裕則(空)
- 【鎌ヶ谷】 磯 正彦(海)

ああ特攻勇士之像慰霊祭

5月26日(木)11時から千葉県護国神社の「ああ特攻勇士之像」前で斎行され、特攻で散華された真出身1388柱を慰霊した。

県隊友会からは、河野会長、山田顧問、櫻井千葉稲毛支部長、河西・三浦理事役及び小倉(船橋)・高坂・國谷(沼南)会員が参列した。また、今回初めて阿比留柏市議も参列した。特攻隊戦没者慰霊顕彰会から金子会員、千葉県備行会から野沢事務局



昨年自宅でとれた瓢箪を奉納された井上陽会員(千葉県備行会顧問)



竹中宮司と会員の拝礼

長ほか2名が参列した。

本勇士像は、さきの大戦で国を思い、故郷・家族を想いながら生還を期しえない特攻として出撃、亡くなられた英霊の記憶を県民の内に永く留めることを目的に会員各位からも浄財を頂き、平成23年5月26日に竣工・除幕したもので、慰霊祭は毎年、5月26日に執り行われ今回が5回目。

【千葉県護国神社担当理事役 河西伸人】

平成28年度自衛隊統合防災演習(JXR)を研修

統合防災演習JXRは「首都直下型地震」など想定される各種事態をテーマに毎年、実施されており今回で18回目。本年度は「南海トラフ地震発生時における自衛隊の震灾対処能力の向上」を目的として陸自東部方面隊、海・空自関係部隊が参加して7月5日(火)から8日(金)の4日間、朝霞駐屯地などで実施された。

演習は政府の被害想定による南海トラフ地震発災後の4日間の対応を連続状況で実施、CPXで「統合任務部隊(JTF)及び陸災司令部の幕僚活動」並びに「関係部外機関との連携要領」を演練するとともに富士地区で兵站施設開設訓練などを実動で行った。また、これに先立ち、会議方式で関係自治体との協議を行った。東部方面總監の招きで6日(火)、自治体、企業、防衛協力団体などがCPXを研修、県から事務局長が県会長代理で参加した。

本研修に接続して、東部方面總監部人事厚生課が主体となって行う「家族支援施策」の説明・研修が行われ、東京都、千葉、埼玉、茨城、神奈川、群馬、栃木、長野県父兄会・隊友会が参加した。家族支援は災害派遣出動隊員が自身の家族の安否確認、出動中の家族の面見などを実施できない場合、それを自衛隊父兄会、隊友会の会員

CPX状況付与部門の研修



が支援するもので、各地区毎に隊員家族・父兄会・隊友会会員の位置(住所)を地図上に展開し、施策の実効性の確認、効果的な安否確認態勢を検証した。

千葉県隊友会としても本施策に協力する方向であり、今後、自衛隊からの支援要望に応じ、支援可能な会員の方々に自宅近傍に居住する隊員家族の安否確認などを受け持つて頂くようお願いする。本施策は、当面陸自の支援を希望する隊員に対して行われ、来年度は全隊員、海・空隊員は、平成31年度頃からの予定。支援する側の隊友会員等も同時に被災するなど、問題点もあり、今後検討して行く予定。

【事務局】